

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

雨の日。

ぼくはまどのそばで、

そとをじっとみています。

ぽつぽつ、

雨がじめんをたたきます。

「いつやむのかな。」

ひとりごとをいいました。

すると、くもがすこしうごいて、

そらがあかるくなってきました。

ぱあっと、

にじが空にひろがります。

「きれい！」

ところがふわっとあたたかくなりました。

ました。

かさをもって、そとに出てみると、

水たまりがきらきらひかっています。

す。

ながぐつであるくと、

ちやぶちやぶ、

たのしい音がしました。



(1) おはなしのできごとを、じゅんばんにならべましょう。

- ① にじをみる
- ② 雨がふる
- ③ かさをもってそとにでる
- ④ まどのそばでそとをみる

() ↓ ↓ ↓ ()

(2) おはなしをよんで、ただしければ○、ちがっていれば×を () につけましょう。

- () () はじめに、わたしはまどのそばでそとをみていました。
- () () ぱあっと、ほしが空にひろがりました。
- () () さいごに、ながぐつであるいて音をたのしみました。

(3) おはなしのながれにあわせて、() () にことばをいれましょう。

- ① ぽつぽつ、雨がじめんを () () 。
- ② にじを見たあと、かさをもって () () に出ました。

